

会 議 結 果 （ 報 告 ）

件 名	令和8年度第1回中野市社会教育委員会議（定例会）
年 月 日	令和8年5月18日（月）午前10時～午前11時30分
場 所	中野市役所 会議室51
出 席 者	社会教育委員7名 学校教育課 和田教育指導主事 事務局：小林生涯学習課長、小林課長補佐兼生涯学習推進係長兼文化財係長、千田副主幹
会 議 概 要	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに就任された委員に対して人事通知書およびバッジを交付した。 <p>2 あいさつ</p> <p style="padding-left: 2em;">増田委員長</p> <p>3 会議事項</p> <p>(1) 部活動の地域移行について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和田教育指導主事より部活動の地域移行について説明があった。 <p>(各委員等の発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度末をもって「部活動」は終了となることに伴い、①【仮称】校内クラブ活動②中野市地域クラブ③総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団等の既存団体、新規の地域クラブ（活動）に別れる予定である。 ・今年入学した一年生の部活動加入率を見ると、南宮中が40%台、中野平中、高社中は30%を下回っている状況である。地域クラブの加入率をみると、どこの学校も30%～40%である。また、中野市の地域クラブで長野市、小布施町、飯山市など、中野市以外のクラブに参加している方も多数いる。 ・部活動の地域展開によって、教職員の勤務時間の削減につながり、生

徒が学校の外で大人と関わることで、生徒の成長にとって良い影響を与える反面、活動場所へ移動するには多大な労力を要する面もある。

- ・経済的な格差等によって、部活動を経験できる人とできない人で、人生の体験の差になってしまうことはあってはいけないと思う。
- ・生徒にとっては、いろんな活動があるということに触れて欲しいし、知ってほしい。
- ・生徒だけを乗せるバスではなくて、いろんな施設を回るバスを増やしてみるとか、そういうやり方はできないのかと思う。
- ・学校の延長に部活動があるから入っていくという選択をしている生徒は多くて、お家に帰ってからどこかへ出るということが難しい地域の生徒もたくさんいる。例えば、中野市は音楽が有名で触れる機会も多いと思うので、学校だけではなくて、大人と子どもと一緒に活動できる場所があったらいいなと思う。
- ・部活動をやりたいが、時間が遅いであるとか、場所が遠い等の理由で参加できない生徒が多い。
- ・保護者の仕事の関係で、活動時間も遅い時間になってしまうという課題がある。
- ・この前、テレビで千曲市と坂城町は合同で部活動の地域移行を進めているが、その中で課題は何かというと、そのことによって生徒の生活リズムが崩れはじめているとの報道があった。
- ・仕事のある指導者、子どもたちの生活リズム、子どもたちの負担をうまくマッチさせることは難しい課題であると思う。
- ・基本的に地域に移行したクラブの活動のほとんどが18～20時の2時間以内を目安で活動しているが、できるだけ現状の時間帯から遅くならないようにしているケースも見受けられる。
- ・可能な限り学校でできる地域活動を展開することによって、移動時間

がない、学校の施設を利用できる等、いろいろメリットが多いと思う。

- ・様々な地域クラブや公民館でやっている活動に中学生をどんどん呼んで欲しいと思う。最初は一人、二人から始まると思うが、それでよいのではないかと思う。
- ・できれば運営組織があるのがベストであるが、中野市では市で何か組織を作ることはない。
- ・地域クラブに多数の生徒が入っていないという理由は、活動場所が少ないという点が考えられる。
- ・各学校に全部揃えるのではなくて、この中学校にはバスケットボールやバレーボールのクラブというふうに、種目を絞っても良いのではないかと思う。
- ・校長先生方が自分たちの学校にいる子どもたちのために何ができるかという視点が大切である。
- ・中野市には地域の方がどんどん入れる土壌はある。
- ・はっきり自分でやりたいことが決まっている子どもたちばかりであればいいが、なにをやりたいか分からない子どもにとって、きっかけをつくれるのは学校であると思う。
- ・クラブに入っていない子がどういうふうに日々、過ごして、どんなことことに興味があるのかをつかむことが大切であると思う。
- ・地域クラブの活動というのは、子どもの居場所づくりという観点からも重要であると思う。

(2) 令和7年度活動報告及び令和8年度活動計画（案）について

- ・令和7年度活動報告を行うとともに、令和8年度活動計画についてお認めいただいた。

(3) 審議会等への委員の推薦について

- ・委員の推薦については、次のとおり。

中野市男女共同参画審議会委員	齊藤隆委員
中野市放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会委員	阿部浩子委員
中野市キャリア教育支援協議会委員	藤澤重徳委員
中野市立博物館協議会委員	仮屋慶一委員
中野市生涯学習推進会議委員	増田正明委員、阿部恵子委員 阿部達也委員、高野美紗委員、 松本幸男委員、藤澤重徳委員、 西山真希委員

4 その他

- ・今期行う研究調査は、令和7年度と同様に「つながりと多様性」をテーマとし個々の活動に委ねることになった。
- ・委員から生成AIを学ぶ地域格差が懸念される旨の発言があった。
また、今年度中に取組を紹介したいとの報告があった。

5 閉会

生涯学習課長

社会教育委員名簿

(任期：令和7年5月1日～令和9年4月30日)

氏名	選出区分	所属団体等	出欠
齊藤 隆 (新任)	学校教育関係者	市校長会	欠
松本 幸男 (新任)	社会教育関係者	公民館非常勤主事会	出
高野 美紗	社会教育関係者	市ボランティア 連絡協議会	欠
阿部 達也	社会教育関係者	中野青年会議所	出
阿部 浩子	社会教育関係者	市体育協会	欠
仮屋 慶一	家庭教育の向上に資する活動を行う者		出
増田 正明	識見を有する者		出
阿部 恵子	識見を有する者		出
藤澤 重徳	公募委員		出
西山 真希	公募委員		出

(敬称略)